

## 助成対象団体及び主な評価意見

| 助成対象団体             | 評価意見                                                                                                                                                              |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 植田東学区<br>連絡協議会     | 2年目の活動ということだが、1年目の成果を出した上でそれを踏まえた提案内容となっており、準備と計画が良く出来ている。成果も期待できるということで高い評価となった。                                                                                 |
| あつた宮宿会             | これまで地域内の様々な団体による活動も行われており、プラットフォームが出来たことによるさらなる活動の展開を期待したい。また、行政主導型の計画と市民主導型の計画のすり合わせがこれからのまちづくりの課題となるが、今回の活動助成による実践を踏まえてどう克服するのか、または相乗的に展開するのかなどを検討しつつ、取り組んで欲しい。 |
| 荒子の里協議会            | これまで2年間の活動で活動の幅や質が上がっていることが分かるが、3年目ということから、今年度の活動は構想づくりにつながる取り組みをして欲しい。時には外部の視点（専門家の助言）も取り入れる必要性もあるだろう。                                                           |
| 那古野下町衆             | これまで3年間の活動によって策定されたまちづくりルールを実装化するという理想的な進め方をしている。これからはこのルールの実践をする上で社会実験後の運用も視野に入れて、実験内容をもう少し検討して欲しい。                                                              |
| 矢田地域まちづくり<br>推進協議会 | 学区の枠をはずして活動をすることは、これからの地域まちづくりにおける重要な視点であると理解する。提案書にあるまちづくり構想作成の方針や意義と、活動計画内容にずれがある。大学や地域企業等との連携体制づくりや、まちづくり構想に結びつく具体的な取り組み等について再考し、活動計画を見直してください。                |
| かんでら monzen 亭      | 将来のジオラマを作成する際に、地域のさまざまな意見をどのように取り入れていくのかのプロセスが大切であり、この点を徹底的に考えて欲しい。                                                                                               |